

69 期生

3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2022年9月28日(水) No.20



修学旅行の思い出☆俳句コンクール表彰

6月の修学旅行のあと、国語の授業で詠んだ俳句でコンクールを行いました。全部で279句集まったなか、3年生の先生たちで審査を行い、選ばれたのが以下の9名。先日の学年朝礼で表彰式を行い、その栄誉を讀えました。

また、このコンクールは「職員部」もありました。修学旅行に参加した全員の先生が俳句をつくり、3年生生徒全員による投票で入選作品が決まりました。なお、生徒の皆さんには作者名はふせての投票を行ったので、どれがどの先生の作品なのかを、あれこれ想像しながら楽しそうに選んでいました。

五・七・五というたった17音で修学旅行の思い出を表現するのは難しかったと思います。入選にならなかったとしても、どの作品も自分にしか作れない大切な一句。ものごとの感じ取り方や、言葉の使い方に個性が出ていて、素晴らしい作品ばかりでした。

【生徒の部】

最優秀賞

短夜やふとんの上で長話し

優秀賞

友の背を追う私の背に夏の空

入選

観覧車ゆっくり進む友情も

おいアイスとけないでくれ入道雲



かさく 佳作

夏の空時を進める観覧車
短夜や不意打ち物音類染める
夕焼けやみんなが眠るバスの中
油照形が歪む器かな
君青く木の香かほる白鯨
夏感ず水面にうつるは友の影
幸せが溶けてるような夏の空



きょういん ぶ ひょうしょう
教員の部の表彰も
ありました！

こうひょう
～講評～

みじかよ ★短夜やふとんの上で長話し

夏の短い夜、また、楽しくて短く感じる夜に、就寝時間を気にしながらホテルの部屋でおしゃべりに夢中になっている様子が目に浮かびます。「短」「長」という対になる言葉を使っているところも上手ですね。

とも せ お せ なつ そら ★友の背を追う私の背に夏の空

2人乗りのカヤック。パドルで一生懸命にこいでいる「私」の目の前には友達の背中が。そして、その私の背中には夏の空が追いかけてくる。2人の息がぴったりあってカヤックがスイスイと前に進む様子が思い浮かびます。

かんらんしゃ すす ゆうじょう ★観覧車ゆっくり進む友情も

ゆっくり進む観覧車。この修学旅行がきっかけで、仲良くなった人もいるのではないのでしょうか。観覧車の中でいろんな話をしながら友情がゆっくり芽生えてきている様子が伝わります。

★おいアイスとけないでくれ入道雲

入道雲が出ている夏の空。そして、手にしたアイスクリームが早くも溶け出していることから暑い日だということがわかります。作者が手にしているのは入道雲の形をしたアイスクリームなのかもしれません。

★夏の空時を進める観覧車

夏の空を旅するような観覧車。回転するその様子は時計の針が進んでいるようにも見えます。また、長く続いてほしい楽しい時間なのに、終わりに向かって否応なしに時間が進んでいくのを惜しむような心情も読み取れます。

★短夜や不意打ち物音類染める

夏の短い夜、または、修学旅行だからこそ短く感じる夜。就寝時間をすぎても友達とおしゃべりに夢中になっているのでしょうか、見回りの先生がドアを開けた音、または、ホテルの部屋で何か物音がしたのか……ドキッとしている様子がわかります。

★夕焼けやみんなが眠るバスの中

大阪に向かうバスの中。夕焼けがさし込む車内には、遊び疲れたみんなの寝顔が。夢の中ではまだ琵琶湖やナガスパで楽しく遊んでいることでしょう。そんなほっこりとした光景が読み取れる一句です。

★油照形が歪む器かな

「油照」とは、風がなく、雲の多い汗ばむような蒸し暑い日をいいます。じんわり汗ばむ夏の日、思い通りにならない粘土に苦戦した陶芸体験でさらにじんわり汗が…。形が歪んでしまった器もきっと素敵な思い出のひとつになったことでしょう。

★君青く木の香かほる白鯨

青と白が美しい木製コースター白鯨。そして、青ざめている友達、木の香りがしてきそうな木製部分、色のコントラストを使って上手にまとめています。一見爽やかに見える句ですが、白鯨のあの衝撃を知っている人ならば、どのように受けとめるのでしょうか。

なつかん みなも とも かげ
★夏感ず水面にうつるは友の影

カヤックで琵琶湖をすいすい進んでいる作者。その水面に写る友達の影。あの暑い夏の1日を思い起こす一句です。また、水面という言葉を入れていることから、暑さの中にも涼しさが感じられます。

しあわ と なつ そら
★幸せが溶けてるような夏の空

修学旅行では空を見上げる機会が何度もありました。琵琶湖、ナガシマで見た空はどんなふうでしたか？幸せが溶けているように見えた作者は、このときまさにこの修学旅行を心の底から楽しんでいたということが伝わってくる句です。

たいいくたいかい む じゅんぴ はじ
体育大会に向けて準備が始まっています！



せいとかいしゅもく おおなわと ひるやす れんしゅう
生徒会種目「大縄跳び」を昼休みに練習しました。

8の字跳びを1分30秒の間にクラスで何回跳べたかを競います。1回目の練習から、声を掛け合って跳んでいる姿がよかったです。練習あるのみですよ！

